



●進研模試当日までの数日。やれることはまだある！

国語

●前期中間考査をおえて

現代文：まず設問をよく読んでいないために得点できていないケースが目立ちました。抜き出しなのか、自分で簡潔に答えるのか。選択肢を一つ答えるのか、二つなのか。落ち着いて何をどう答えるべきかを確認してから解答を始めましょう。字数制限のある設問については、努力が見られました。必要な要素をすべて入れてよく書けている人が多かったと思います。無答にした人が何人かいたのは残念でした。配点が高いので時間配分もよく考えて解くようにしましょう。基本的なことですが、漢字の間違いと文末の処理の甘さが目立ちます。普段から意識して練習しましょう。

古典：よく復習できていたと思います。現代語訳は逐語訳です。問われている傍線部分の助詞・助動詞すべてに触れること。助動詞や文法的説明は完璧にしたいものです。苦手な人は不安なまま復習せずに残しておく、毎回点数を失うこととなります。後回しにしないで今日から弱点強化に取り組んでください。

●プレ模試をおえて

自己採点の結果を見るとかなり厳しい結果でした。評論は比較的読みやすいものであったと思います。問四が 50 字、問五が 60 字と字数も短いので捨て書きして整えるのも、それほど時間を必要としなかったのではないかと思います。比喩の意味するものを説明することは授業でも練習しているはずですが、うまく書けなかった人はもう一度解き直してみてください。漢文では受身の句法「為A所B」(AにBされる)が難しかったようです。受身の句法だけでなく反語・使役・否定など「明説漢文」をよく見て復習しましょう。

●本番にむけて

常に毎日の授業が基本です。授業に全力を注ぐこと。現代文は授業で問われることに解答できるか毎回試されていると考えてください。古典は予習が必須です。訳を写してくるのは予習ではありません。辞書をひく。何がわからなくて訳せないのかははっきりさせてくる。そして復習。模試の後、自分で丁寧に解き直すことが次に生かされます。受けっぱなしにしないこと。プレ模試を生かしてください。今日自分が取り組むことが明日以降の自分を作っていることを忘れずに。

数学

●前期中間考査をおえて

学年平均は、58.1 でした。定期考査は、授業で習った基本事項の定着がどれだけなされたかの確認をするのですが、試験前に、「教科書・サクシード (A 問題) から 60%以上出題する」と案内したにもかかわらず平均点を見ると少し残念な結果だったと思います。うまくいかない理由の中で一番問題なのが、普段の学習です。①課題をきちんと提出しない。②朝テストをきちんと合格できない。これでは、定期考査で点数をあげることは難しいと言わざるをえません。今後の自分の将来をしっかりと考える上でも、普段やるべきことをきちんとやりましょう。

今後も、課題内容・朝テスト範囲・試験内容は明確に指示していきます。

●プレ模試をおえて(本番に向けて)

自己採点での平均点は 30.9 点(昨年結果は 45 点)でした。昨年度から大問 2 の出題傾向が中間となり、出題傾向が変わりましたが、大きな流れに変化はありません。小問 1 中間 2 と大問 3, 4, 5 の (1) は全て教科書の例題レベルの問題であり、これができると 51 点(全国偏差値 60)となります。また、大問の (2) {配点 21 点} の 70%も教科書の基本事項 2 つ程度を組み合わせればできる問題で、ここまでできれば全国偏差値も 70 を超えてきます。まずは、教科書基本問題が確実に解けるように 50 点以上を全員の目標として、過去問題集を活用して準備をしっかりとしましょう。解答は、ノートに解答の手順をしっかりと書いて、教科書のどの内容をどのよう

●前期中間考査をおえて

コミュ英は教科書に加え、模試の過去問から複数の英文について出題しました。まずは97問すべてに解答した人が多くいたことを評価します。しかし一方で家庭学習記録表をみると、英語を週に2回ほどしか取り組まない人もいます。英文の速読、単語、リスニングを高める方法は音読です。音読できない以上の速度で英文を読むことはできません。ひとつの素材を何度も咀嚼すること。模試本番まで欠かさず音読をし、スピード感をもって言語処理できるよう努めてください。一方、英語表現は英文法のエッセンス。教科書の問題をやり直すだけでもポイントをおさえた学習ができます。特に8割できなかった人は考査を全問確認すること。

●ブレ模試をおえて

英文はなんとなく理解できたが、答えられなかった人は、解答までのプロセスを丁寧に確認すること。同じ英文が出題されることはあまりありませんが、解答へのプロセスはだいたい一緒です。また英作文の意見論述が苦手な人は接続詞や副詞を確認するとともに、「型」が書けるように模範解答を暗唱できるくらい読み込みましょう。今回、試験監督していて、英文を読むことをあきらめている人を見かけました。記述は小さな部分点をいかに積み重ねるかがポイント。また問題文を見ていかに該当箇所を極めるかがポイントとなります。これまで学習した数本の文章を、のこりの日々、復習し、【着眼点とプロセス】を丁寧にたどってください。

●本番にむけて

【文法】学習は英語表現教科書や「Vintage」が基本ですが、あと数日で本番ですので、文法のまとめプリントをまずは徹底的にドリルをしましょう。また「構文150」の例文集を、赤文字や太文字を目に焼き付けながら呪文のように暗唱するのもオススメです。【英文解釈（いわゆる和訳）】や【英作文】ではここで学んだ表現を使えないか、また出題者がどんな表現を求めているかを見極めましょう。模範解答を見ると、「構文150」の表現が多く使われていることがわかります。また解説の【モデル文】を咀嚼するのも効果的です。

●ブレ模試の結果

6月18日（土）に行われた、「進研プレテスト」の自己採点結果は以下の通りです。

国語 33.9 (48.0) 数学 30.9 (50.0) 英語 34.3 (48.3) 3教科総合 99.0 (49.1) ※（）内は平均点偏差値
3教科総合 全国偏差値 70以上2名 65以上5名 60以上3名

自己採点とはいえ厳しい結果となりました。以前より話をしていますが、模擬試験は自分の現在の学力状況を確認するだけでなく、自分の課題を洗い出し、一つ一つを解決していくことで、今後の進路に生かしていくためのものです。特に進研模試は、授業で学んだ基礎学力（概ね得点で50点が目安）を定着させ、それを活用する力を身につけることが大きな目的となる全国模試となります。

この一週間の準備の仕方でもまだまだ伸びます。自己採点で一喜一憂することなく、今回うまくいかなかった自分自身の課題をしっかりと復習し、今週末に行われる進研学力テスト（本番）で大きく前進できるようにしていきましょう。

また何度となくお願いしていますが、ベネッセのマネビジョンで今回の模試の「目標得点」、「志望校4校」の入力を必ず模試の前日までに入力してください。併せて、模試当日に自己採点をしますが、26日（日）の20時以降に「マネビジョン」で再度自己採点をして、模試の復習をしてもらいます。学習の方法に不安のある人は特に「マネビジョン」を活用して、自分が「今」「何を」すべきかをチェックして次に繋がる学習スタイルを確立していきましょう。

● 26日（日）の日程

国語 8:30~9:50 数学 10:00~11:40 昼休み 11:40~12:10（昼食が必要です）
英語 12:10~13:30 自己採点 13:30~14:10

いよいよ今年初の進研模試

目標は具体的に。

試験当日までの数日間も、本番を意識して！